

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	評価区分	A
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	障害者総合支援法に基づき障害福祉サービス受給者証をお持ちの方に、就労継続支援B型事業を実施しました。身体障がいだけに限らず、精神障がいの方を受け入れたことで、より多くの利用者を受け入れることが可能となりました。	A	法令に則り、適切な事業運営がなされている。また新たに精神障がいの方を受け入れ、施設運営の向上につなげている。	障がいの特性を理解し、分け隔て無く積極的に受け入れていることを評価できる。		
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	ご本人及びご家族に「重要事項説明書」や「個人情報使用同意書」など契約に係る説明を行い、それぞれ署名捺印をいただいています。また、法改正に伴う変更についても、その都度説明を行い、書面にて同意をいただいています。	A	本人及びその家族へ、適正な方法で行われている。	意見無し		
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	新型コロナウイルス感染防止のため公の場での広報活動等は自粛しました。相談支援事業所との連携で新規利用者2人と契約しました。	A	コロナ禍にあるものの、相談支援事業所と連携することで、新規契約に繋がる成果をあげた。	意見無し		
< 課題 >		利用者や家族の高齢化(重度化)による自力通所問題に対する対応が必要です。		利用者やその家族のニーズを調査し、課題に取り組む必要がある。	送迎希望者への対応を検討すること。		
< 改善内容 >		次年度中に希望者に対して、当所での送迎サービスの開始を予定しています。		課題解決に向けて、改善方法を検証し、利用者のサービス向上につなげること。	意見無し		
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	障がいをお持ちの方の就労継続支援B型事業所として、進行性の障がいをお持ちの利用者や、支援困難な事例の利用者を積極的に受け入れています。また、一般就労や就労継続支援A型での就労が難しくなられた、精神障がいの方と契約しました。	A	施設の目的に沿って、利用者に必要な支援が適切に行われている。	意見無し		
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	個々の障がいや特性に応じた作業や工程・環境をご本人と相談し、負担なく効率的に作業できる環境を提供しました。障がい程度や体力に応じ利用日や利用時間の調整や変更にも対応しています。就労意欲が増すように、付加価値の高い作業を導入し、利用者工賃が増加するよう努めました。	A	利用者のニーズにきめ細かく対応することで、利用回数の促進などを図る取り組みがなされている。	意見無し		
< 課題 >		本人や家族の高齢化や重度化に伴い自力通所が困難になってきている利用者に対して通所に関する支援が必要になってきている。		利用者やその家族のニーズを調査し、課題に取り組む必要がある。	意見無し		
< 改善内容 >		令和5年度より、自力通所が困難な利用者に対し送迎サービスを開始する予定です。		課題解決に向けて、改善方法を検証し、利用者のサービス向上につなげること。	意見無し		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	年度初めに嗜好調査、摂取調査アンケート、毎月リクエストメニューアンケート、年度末にサービス全体に対するアンケートを定期的に行っています。	A	定期的に行われている。	意見無し		
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	毎年アンケートをもとに給食の献立に反映し高評価を得ています。工賃の増加を望まれる声が多かったので、市からの封入・封緘作業に加え、他の企業にも協力をいただき付加価値の高い作業の確保に努めました。	A	利用者のニーズを把握し、満足度の向上に努めている。	意見無し		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	要望や疑問等についてはその都度話を伺い、できないことはその旨を丁寧に説明し、できることについては早速に対応しました。	A	利用者へ寄り添った対応がなされている。	意見無し		
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	施設内に意見箱を設置していますが、直接訴えられることが多く、その都度対応しました。また、個別面談時に要望や意見を伺い、意向に沿った計画書を作成し支援に活かしました。	A	意見箱を設置するなど、アンケート以外にも利用者のニーズの把握に努め、意向に沿った計画書を作成されている。	意見無し		
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	引き続き、要望の多い工賃の増に対し、作業を整理して、付加価値(高賃単価)の高い作業の導入に努めた結果昨年の月額平均工賃と比べ1万円以上増収することができました。感染防止対策を徹底し、3年ぶりに所外行事として神戸「ATOA」に出かけました。	A	引き続き利用者へ寄り添ったきめ細かな対応を継続的に行われたい。	意見無し		
< 課題 >		社会的に新型コロナ感染に対する警戒感が緩くなっていますが施設内との温度差を理解していただくことが必要となっています。		利用者のニーズを把握し、感染対策を実施しながら行うことができる行事や新たな取り組みが必要である。	意見無し		
< 改善内容 >		施設内や職員の感染防止対策を周知徹底して継続します。感染リスクが少ないことを念頭に行事等を計画します。		感染対策をしっかりと講じたうえで、利用者にとって有益なものとなるよう工夫を凝らすこと。	意見無し		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	感染防止対策として、換気しながら室温調整を行うため、電気代は上がりました。できる限りの節約には取り組みましたが各種料金の値上げや酷暑等のために経費の増は免れませんでした。 老朽化していた空調機のファンコイルの取り換えが年度末に完了しました。	A	昨今の光熱費等の価格高騰に対しては仕方のないことであるが、できる限りの節約を図り、経費節減に対する工夫がなされている。	意見無し			
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業者委託での契約に際し、相見積を取り安価な業者と契約いたしました。	A	引き続き経費がより最小となるよう努めること。	意見無し			
< 課題 >	照明器具のLED化や電気設備の老朽化にも対応する必要があります。		中長期的な方向性を定め、計画的に取り組む必要がある。		意見無し			
< 改善内容 >	市と協議しながら計画的に進めていきます。		経費節減につながる取り組みを期待する。		意見無し			
(2-2) 収入の増加	A		A		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。	B	急な欠席者に対しては欠席時対応加算を算定しました。 利用者個々に対して、利用日や時間等要望に対応し利用日を増やせるよう努めました。 平均工賃月額を増加させるために、取引先企業に協力を依頼し高付加価値の作業の確保に努めました。	B	利用者の希望に沿ったサービス提供に努め、取引先企業に高付加価値の作業を協力依頼するなど、収入確保を図る取り組みがなされている。	利用日の増加など一定の努力は認められるが、収入の増加に向けて今後も努めること。			
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。	A	利用者欠席時の減収を最小限にとどめました。 声かけにより、欠席していた日を遅刻(早退)に変更することで、利用日増につなげました。 利用者の工賃が増加したことに伴い、サービス費報酬単価の区分を1ランク上げることができました。	A	収入減を抑えるための取組がなされ、一定の効果は得られている。	意見無し			
< 課題 >	定員を大きく下回っているため、新規の利用者を獲得することが課題です。 小戸作業所との合併を見据えて計画的に勤めることが必要です。		利用定員を大きく下回っていることは、事業収入の減につながる要因の一つとなっている。新規利用者を確保するため、事業の見直しを含めて効果的な新たな取り組みを検討すること。		意見無し			
< 改善内容 >	小戸作業所の就労支援継続B型事業と合併することにより、令和5年10月に定員40人の施設となる予定です。合併後は契約者数は42人となります。(障がいの特性等により実人員が1日40人を超えることはありません) 自力での通所が困難な利用者に対するの送迎サービスを開始する予定です。		新規利用者が増加するよう、小戸作業所との合併をスムーズに進め、具体的な取り組みと成果を期待する。		意見無し			
(2-3) 収支のバランスなど	A		A		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。	B	利用契約者数は減りましたが延べ利用者数、出席率は若干増えています。 障害福祉サービス等事業費収入の増は報酬単価が上がったためです。 水道光熱費ほか物価の高騰により支出が増えています。	B	光熱水費等の物価高騰の影響により、難しい事業運営が求められる中、収支バランスをとうろうと努力された。	意見無し			
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	新型コロナ対策を継続しながら、できる限りの節約を実施し、経費の効果的かつ効率的な執行をしました。	A	適切に行われている。	意見無し			
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容を十分理解し、適切に執行しました。	A	適切に行われている。	意見無し			
< 課題 >	収入を確保するために利用者数を増やすための取り組みが必要です。		新規利用者を確保するために、令和5年10月の小戸作業所との合併のほか、事業の見直しを含んだ効果的な新たな取り組みが求められる。		意見無し			
< 改善内容 >	令和5年10月に小戸作業所就労継続支援B型事業と合併する予定です。 重度障がい自力通所困難な利用者に対し送迎サービスを開始します。		新規利用者が増加するよう、積極的に取り組むことを期待する。		意見無し			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	サービス管理責任者を専従させ、指定基準上の適切な人員配置を行いました。将来を見据えて2人目のサービス管理責任者を配置しています。	A	適切な人員配置が行われている。	意見無し			
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	職員個別研修計画を作成し、全職員が年に1度以上、研修に参加しました。研修報告書を職員間で供覧し、内容を共有しました。引き続き、新型コロナウイルス感染防止のためウェブやZoomなどを利用してインターネットによる研修も取り入れています。	A	コロナ禍においても研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。	意見無し			
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	建物及び設備が古くなっており、修繕箇所が増えています。可能な箇所についてはできるだけ職員による修繕で対応し、危機管理及び経費削減に努めました。	A	適切に行われている。	意見無し			
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	年に1度内部監査を実施し運営状況を確認しています。職員に対し常設相談窓口を設け、いつでも相談できる体制をとっています。	A	工夫を凝らし、施設の良好な管理運営を図っている。	意見無し			
< 課 題 >	全職員が法令を正しく理解し、適切な事業運営を行っていくために、事業所内の研修や外部研修への参加など、継続的な取り組みが必要です。また、研修内容を共有することが必要です。		これまでの継続的な取組に加え、研修の効果をさらに高めるため、出席者が他の職員に研修で得たものを還元する方を検討すること。		意見無し			
< 改善内容 >	全職員が研修に参加する体制を強化し、内部研修等も行い法令に対する意識を高められるように努めます。研修報告書を供覧し、必要があれば研修内容を報告(発表)することで研修内容を共有します。		単に研修に参加するだけでなく、全職員で研修の効果を共有できる取り組みを期待する。		意見無し			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	常に事業者ハンドブックで確認し事業を実施しています。不明な点はその都度市や県に確認しています。管理者がすべての個別支援計画作成状況のチェックを行いました。年1回法人の内部監査も行き、チェックしています。	A	適切にチェック体制が整備されている。	意見無し			
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	社協の個人情報保護規定に従い適切に取扱っています。個人については、契約時に説明し、同意書に署名捺印をいただいています。個人ファイルや個人情報を含む書類は鍵付きロッカーに保管しています。	A	適切に取り扱われている。	意見無し			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	作業室、廊下の幅員を十分に確保するために、資材等の整理整頓に努めました。ヒヤリハットの記録をつけ、ミーティングなどで周知しています。法人内で、ヒヤリハットや事故の報告を共有し、対策に向けて提案できる体制を作っています。	A	適切に実施されている。	意見無し			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	年に2回、小戸作業所と合同で消防総合訓練を実施しています。水害マニュアルも適宜見直し、天候によって利用者に注意喚起をおこなっています。防犯対策として警備会社直通ボタン、防犯カメラを設置しています。	A	利用者の安全を最優先に危機管理体制を構築している。	意見無し			
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	感染症のBCP(事業継続計画)の他、事故発生・緊急・災害・不審者対応マニュアル等を作成し、周知徹底をしています。また、適宜マニュアルを更新しています。	A	適切に行われている。	意見無し			
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		該当なし		該当なし	該当なし			
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	障がい種別に関わらず、本人の希望と障がい特性等を考慮し、当所との適合性を判断しています。今のところ利用を当所からお断りした事例はありません。	A	適切に実施されている。	意見無し			
< 課 題 >	管理者をはじめ複数でのチェック体制の強化や法人の内部監査による指導・助言などに引き続き取り組む必要があります。災害時のBCPを完成させる必要があります。		引き続き、法令順守、個人情報の保護、安全対策などに係る施設運営に適切に取り組むこと。		意見無し			
< 改善内容 >	令和5年度に法人と連動した災害時のBCPを完成させます。各マニュアルの見直しをする際にシミュレーションをおこなうようにします。		近年大規模な災害が全国的に多発していることから、防災マニュアルなどは適時見直すとともに、事業継続ができるようBCPの作成にも取り組むこと。		意見無し			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	定員確保のため、小戸作業所の就労継続支援B型と合併し、定員40人の事業所にする事を提案しました。市と協議の結果、令和5年10月に新体制に移行することになりました。		定員確保のため、小戸作業所との合併の内容と具体的な移行の期間を提案をいただいた。		意見無し	
・令和4年度に改善した内容	感染対策をしたうえで昨年まで休止していた事業を徐々に再開していきました。 令和5年の合併を視野に入れ、小戸作業所と定期的に合同会議を行い、連携をはかる体制づくりに取り組みました。 老朽化していた空調機の室内ファンコイルの取り換え工事が完了しました。		コロナ禍で休止していた事業の再開や施設の修繕により、利用者へのサービス提供の向上につながった。		意見無し	
・令和4年度に改善したことによる効果	感染対策を行ったうえで、3年ぶりに所外行事として神戸の「ATOA」(水族館)に行きました。年始にはカップヌードルミュージア見学を企画し、どちらも好評を得られました。 小戸作業所と作業連携を行ったことで、受注量を増やすことができました。結果として、令和5年度の報酬単価のランクを上げることにつながりました。 空調のききが良くなり、快適な環境を提供できるようになりました。		引き続き工夫を重ね、利用者を第一に考えた運営を望む。		意見無し	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	利用定員35人に対し契約者数23人と定員枠が埋まらない状況が続いています。また、高齢のためご家族送迎が続けられないという声が上がっています。 敷地外周のフェンスが老朽化しており修理が必要です。		利用定員を大きく下回っていることは、事業収入の減につながる要因の一つとなっていることから、新規利用者を確保するために、事業の見直しを含めて効果的な新たな取り組みを期待する。		意見無し	
・改善方法とその時期	令和5年10月より、身体・精神・知的の3障がいを対象とした定員40人の就労継続支援B型事業所に変更します。小戸作業所の就労継続支援B型と合併するため、徐々に移行を進めていきます。また、令和5年4月より送迎を開始します。 令和5年度中に危険箇所のみフェンスを修繕する予定です。		令和5年10月からの合併においては、スムーズな事業運営を行うこと。また、計画的な修繕を実施すること。		運営形態の変更によってメリットがあったが、職員が不安にならないよう、職員同士の食違い等を調整し、丁寧に対応すること。合併後の運営が円滑に進めるよう努めること。	

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A, B, C, D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。